

人事異動

(平成 27 年 4 月 1 日)

転出	田上則之校長	香寺公民館へ
	藤原 明	姫路市立姫路高等学校へ
	荒木仁恵	姫路市立飾磨高等学校へ
	三木瑞枝	宝塚東高等学校へ
	大道秀樹	再任用退任
	上垣雅章	豊岡高等学校へ
	高木博嗣	錦城高等学校へ
	片山秀一	西宮香風高等学校へ
	岡田京子	退任
転入	高桑由雅校長	姫路市立飾磨高等学校教頭から
	市村泰隆	姫路市立姫路高等学校から
	濱田美穂	姫路市立飾磨高等学校から
	吉川 毅	高砂南高等学校から
	大崎圭祐	新採用
	城後憲幸	新採用
	小田根達	新規採用
	櫻井詠司	新規採用
	澤田春花	新規採用
	中村 崇	新規採用
	萩原圭吾	新規採用
	平田文子	新規採用

国際文化科の主な活動

- アデレードの小学生との SKYPE 交流事業
- ネパール地震救済支援街頭募金活動
- 琴丘杯英語スピーチコンテストの運営
- 姫路市小高連携事業への参加（荒川小、高岡西小）
- ひめじ国際交流フェスティバルへの参加

編集後記

新しい役員会もスタートしたばかりなので、9月6日の総会に間に合やすべく巧遅より拙速の会報になりました。毎年9月第1日曜日に総会を開催致しますが、この会報は（予算の関係で）2～3年に1回の発行となります。編集委員募集に併せて皆様の寄稿も広く募りたく考えておりますので、寄稿をお考えの方は下記しらさぎ会メールアドレスまたは FAX にてお寄せ下さい。

E-mail:kotogaokasirasagikai@gmail.com
FAX.079-292-4980

しらさぎ会 副会長 和田恵一 記

進路状況

普通科67回生・国際文化科10回生
(平成27年3月卒業)

■合格大学名（一部抜粋）

＜国公立大学＞

岡山大、京都教育大、九州工大、山口大、兵庫教育大、兵庫県立大、電気通信大、大阪市立大、高知県立大、島根県立大、高知県立大、滋賀県立大、尾道市立大、はこだて未来大

＜私立大学＞

早稲田大、慶応大、東洋大、法政大、明治大、創価大、同志社大、立命館大、京都産業大、京都外大、仏教大、龍谷大、関西学院大、関西大、関西外大、甲南大、近畿大、神戸女子大、武庫川女子大、神戸学院大、関西福祉大・・・など多数

クラブ活動(主な成績)

運動部成績		
サッカー部	姫路市民大会 (H26.11)	第2位
	後期西播大会 (H26.12)	第3位
女子バレー部	姫路市民大会 (H26.8)	第3位
	後期西播リーグ戦 (H26.8)	第2位 (1部昇格)
	秋季西播大会 (H26.11)	第3位
陸上部	近畿高校コース陸上大会 (H26.9)	棒高跳出場
	西播ジュニア大会 (H26.9)	入賞多数
	男子総合	第4位
	兵庫県総体陸上競技西播予選 (H27.5) 男子やり投げ	第3位
	男子110m H	第3位
女子ソフトテニス部	近畿高校ソフトテニス大会 (H26.7)	団体戦出場
男子ソフトテニス部	県新人ソフトテニス大会 (H26.11)	団体戦 ベスト8
	全国高等学校ソフトテニス大会 (H27.7)	個人戦出場
	近畿高校ソフトテニス大会 (H27.7)	個人・団体戦 出場

文化部成績	
吹奏楽部	西播地区アンサンブルコンテスト (H26.12) クラリネット8重奏(金賞・代表・最優秀賞) サキソフォン4重奏(金賞・代表) 打楽器5重奏(金賞) 金管8重奏(金賞・代表)
	兵庫県アンサンブルコンテスト (H27.1) クラリネット8重奏(金賞・代表) サキソフォン4重奏(銀賞) 金管8重奏(金賞)
	関西アンサンブルコンテスト (H27.2) クラリネット8重奏(金賞)

琴丘 しらさぎ会だより

Shirasagikai / Kotogaoka High School Dosokai

表紙・題字「しらさぎ会」は
第8代校長 八木初男氏の揮毫による。
写真は100周年記念会館。

総会のご案内

2015年9月6日(日)
15:00～ 総会 17:00～ 懇親会
姫路商工会議所内ホール
会費 4,000円
(※詳しくは4ページに掲載)

しらさぎ会

新ホームページを開設しました。

<http://www.shirasagikai.com>

《しらさぎ会》<http://www.shirasagikai.com>

E-mail:kotogaokasirasagikai@gmail.com

ごあいさつ

■ Greeting ■



琴丘しらさぎ会
第3代会長
三木 英一
(第5期生)

同窓会の活性化を祈念して

同窓生の皆様におかれましては、それぞれの分野でご活躍のことと拝察し、お慶び申し上げます。

永年に亘り同窓会長を務められ、母校の100周年記念事業の成功に大いに貢献されました八木清重会長様が、平成26年12月7日の同窓会総会においてご勇退され、私を後任の会長に推挙され、承認を得ました。

私は内装も新たになった「しらさぎ会館」内に事務局を設け、インターネットやメールを用いての新しい情報の発信、そして毎年9月の第1日曜日に総会と懇親会を姫路商工会議所において開催し、先輩後輩の連帯感の醸成、組織の活性化と、母校発展への援助に力を傾注したいと考えております。

今後の活動について、皆様のご協力をお願いしますとともに、各期の同窓会活動の活性化を祈念しまして、会長就任の挨拶と致します。



姫路市立琴丘高等学校
第22代校長
高桑 由雅

困難にくじけない人づくり

会員の皆様、平素より多大なご支援を賜り、深く感謝いたします。22代目校長を拝命した高桑由雅です。よろしくお願いいたします。本校は現在、落ち着いた雰囲気の中で、順調に教育活動が行われ、優れた先輩諸氏を継ぐことのできる人材の育成に励んでいます。

私は学校の存在意義を次のように考えています。第一に、自らの人生を切り拓く「確かな学力」を身に付ける場所。次に「平和で民主的な社会の構成員として必要な資質」を身に付ける場所。そして、同世代が同一空間で一日の大半を過ごす場所であり、「互いに切磋琢磨し、成長し合う」場所。

先行き不透明な現代、本校生もいずれ、想定外の障害に直面するでしょう。教職員一同、『困難にくじけない人づくり』を目標に、知・徳・体のバランスのとれた人づくりと互いに成長を促し合える切磋琢磨の場づくりに全力を尽くします。変わらぬご支援をお願いいたします。



琴丘しらさぎ会
第2代会長
八木 清重
(第4期生)

ごあいさつ

25年余、四半世紀に渡り名誉あるしらさぎ会会長を務めさせて頂きました。誠に有り難い事と今も深く感謝致している処でございます。

70周年大会、80周年大会と刻み年々90周年大会を時節柄開催出来なかった事は残念に思いながらも、大節目の創立100周年記念大会が盛会裏に挙行する事が出来ました事、会員の皆様の母校愛の賜物と、併せて御礼を申し上げる次第でございます。

昨年度の総会にて退任させて頂き、三木英一君をはじめ多年度に渡る新役員が選出されました。新しい息吹きのしらさぎ会に改めてエールを送り本会の益々のご発展と会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り致しながら退任の挨拶に替えさせて頂きます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



姫路市立琴丘高等学校
第21代校長
田上 則之

ごあいさつ

しらさぎ会会員の皆さま、この3月末で定年退職しました、前校長の田上です。校長在任中は、母校の発展のために深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

2年前に創立100周年という大きな節目を迎えた琴丘高等学校はまだまだこれからも一層発展していく学校であると確信しています。おかげさまで琴丘高等学校は進学実績も着実に伸び、志願者数も増加し、姫路市内でも屈指の人気校となっています。今後も琴丘高等学校の歴史と伝統を守り伝えていくため、同窓会、PTAそして学校が三位一体となって力を結集し、一丸となって前に進めていって欲しいと願っております。

しらさぎ会の皆さまのご健勝とご発展をお祈りしつつ、今後ともご協力、ご支援等どうかよろしくお願い申し上げます。

新役員紹介

■ Introduction ■

[役 職]	[氏 名]	[卒業年次]	[役 職]	[氏 名]	[卒業年次]
顧問	高 桑 由 雅	学 校 長	事務局長	菅 原 栄 作	昭 和 5 4 年
名誉会長	八 木 清 重	前 会 長	理事筆頭	勝 岡 郁 夫	昭 和 3 8 年
相談役	小 松 利 仁	前事務局長	理 事	安 原 美 津 代	昭 和 4 4 年
会 長	三 木 英 一	昭 和 2 8 年	〃	澤 田 福 文	昭 和 4 7 年
副 会 長	和 田 恵 一	昭 和 3 8 年	〃	福 岡 和 也	昭 和 5 2 年
〃	高 田 英 教	昭 和 4 0 年	〃	八 木 秀 介	昭 和 5 9 年
〃	阿 比 野 剛	昭 和 4 6 年	〃	三 浦 一 章	昭 和 6 1 年
〃	森 文 予	昭 和 4 6 年	〃	森 原 紳 太 郎	昭 和 6 2 年
〃	平 野 勝 也	昭 和 5 7 年	〃	佐々木 賢 司	平 成 元 年
〃	柴 山 栄 一	昭 和 6 2 年	〃	渡 部 美 智 余	平 成 2 年
会 計	伊 藤 茂 男	昭 和 4 4 年	〃	三 原 隼 人	平 成 7 年
〃	細 野 友 克	昭 和 4 7 年	〃	福 永 直 史	平 成 2 2 年
会計監査	毛 利 茂 義	昭 和 4 1 年	校内幹事	新 田 正 作	昭 和 5 5 年
〃	鎌 谷 正 弘	昭 和 4 7 年	〃	吉 川 毅	平 成 8 年

平成26年度総会報告

■ General meeting ■

■ しらさぎ会総会開催

と き 平成26年12月7日(日)
ところ 姫路商工会議所 1F

1. 開会あいさつ(司会)・・・高田英教 幹事
 2. 会長あいさつ・・・八木清重 しらさぎ会会長
 3. 学校長あいさつ・・・田上則之 学校長
 4. 八木清重 会長を議長に選出。
 5. 議 事
 - 100周年の事業報告並びに会計監査報告・・・小松事務局長
 - 会則第8条第1項に従い、新役員(会長)人事について提案があり、第5期生・三木英一さんが承認されました。
 - 三木新会長より挨拶の後、議長を交代。
 - 別記新役員委嘱の発表。
 - 事業計画発表
 - 《主たる新事業として》
 - 総会を1年に1回開催する。
 - 開催日は毎年9月第1日曜日。
 - 場所は姫路商工会議所内ホールにて。
 - しらさぎ会のホームページを作成する。
 - 多額の予算を要する会報は2～3年に1回の発行とする。
 - ホームページ立ち上げ費用は積立金から、維持費は年度予算から拠出する。
- 質疑応答の後、一括承認。



しらさぎ会 懇親会

しらすぎ会のホームページを新しく作りました！
<http://www.shirasagikai.com>

■ Activity report ■

支 出 の 部		
項 目	金 額	備 考
需 用 費	226,320	印刷代(学校案内)、横断幕作成、総会開催費、講師謝礼
奨 励 費	66,000	各クラブ活動激励金128 吹奏楽関西大会 1,000円×8
同窓会補助金、慶弔費	12,000	同窓会祝金、香料
補 助 金	112,000	スピーチコンテスト、琴丘フェスティバル運営補助
通 信 費	45,974	NTT回線使用料 11・12・1・2・3月分 14,286円
100周年実行委員会経費立替分	2,065,788	100周年事務費、記念報告新聞発送費
広 報 経 費	6,260	通学区域拡大に伴う広報活動費
備 品 購 入 費	49,680	両開き保管庫2台
事 務 アル バ イ ト	93,000	安原様 90,000円、福永様 3,000円
県、市議会筆耕代金	10,000	5枚 3.29
卒 業 アル バ ム	32,400	16,200円×2冊 アート写真 3.17
掃 除 機	87,318	ヤマダ電機3台 3.21
吹奏楽定期演奏会 広告	30,000	不二先生 3.16
事 務 用 品	1,556	和田副会長 金銭出納帳 クロサキ 12.26
会 議 費	6,400	会長、和田副会長、伊藤会計、清交倶楽部 12.26
総 会 費	312,000	清交倶楽部 12.7
新 年 会 助 成 金	10,895	北京閣 1.20
事 務 用 品 費	16,804	長3封筒代
総 会 打 合 せ	774	ベッポトルお茶6本
理 事 会 打 合 せ	66,000	北京閣22名
御 礼	200,000	役員退任に伴う御礼(商品券)
しらすぎ親睦会・総会	157,000	会場使用料 12.13
奨 励 費	8,000	吹奏楽関西大会 1,000円×8 1.28
事 務 用 品 費	48,384	ヤマダ電機 ハソコン購入費
次 年 度 繰 越	10,903,761	3.31 繰越
支 出 合 計	14,568,314	

100周年記念館玄関ホールに吹奏楽部の第36回全日本アンサンブルコンテスト 金賞受賞(平成25年3月23日)の顕彰額の実物、吹奏楽部部室にはレプリカを掲げました。



100周年募金者銘版がしらさぎ会館2階ホールに設置されています。

しらさぎ会会員の近況報告

■ Recent conditions ■

勝岡 郁夫 昭和38年卒業（15期生）

早いもので、100周年から1年半。
昨秋に古希の個展（水墨画）を開催。暮の衆院選、今春の市長選と多忙を極めました。100周年、個展、選挙では多くの方々にお世話をかけました。忘却は恩寵であり業罰であると言えますが、これらでお世話になった方々の事を決して忘れてはならないと胆に銘じています。
最近はやっと、水墨画、囲碁、読書、競馬と本来の時を過ごしています。6月には、久しぶりに同窓生（38会）の飲み会。楽しみです。

和田 恵一 昭和38年卒業（15期生）

昭和38年早々の卒業試験を済ませ大阪は豊中の同業社に見習い奉公に行き、そのまま家業のクリーニングの2代目を継承しました。奉公期間中に神戸新開地にて母親と夕食を共にした後、一人、駅に向かう途中、振り返れば、母は未だ手を振りながら見送ってくれていたのを今も思い出します。62歳時に長男に3代目を託し、70歳の古希を過ぎ今は、家内と一緒に好きな旅行や温泉・ゴルフと気ままに時を過ごさせて頂いております。
100周年の式典を担当させて頂き、この度、副会長の指名を受けさせて頂いておりますが、元よりお祭り騒ぎが大好きで多くの同級生を募り38会と名付けた同期会もお世話させて頂いております。残念な事にゴルフコンペの方は、腰痛・膝痛・肩痛等々で参加者は減っていますが、アフターゴルフの飲み会には倍近い参加者が集まります。仲間内での海外含む遠征ゴルフ程愉しい物は他に類を見ません。この38会コンペは上限12名のメンバーですが、(ゴルファー憧れの)・ホールインワンの達成者が(ナント)3名！延べ6回と、言う信じがたい事実があります。(私はこの次？の筈です)よくぞ運に恵まれ、元気な琴丘高校の卒業生に恵まれたと思う次第です。これからも毎年9月第1日曜日の総会に、出席出来る幸福者を募り賑やかな総会懇親会になるように勤めたいと思っております。

現在は高校が最終学歴で無い方が殆んどと思いますが、地元で青春を共に楽しみ、共に悩んだ仲間は高校の同級生だと思っています。大切に残したい思い出は高校の同級生から生じ、同窓会に存在するのではないのでしょうか？これからも琴丘(コットン)の名を忘れず毎日を元気に過ごしたいと思っております。



毛利 茂義 昭和41年卒業（18期生）

高校を卒業して50年。花の団塊世代もすっかり「ジジ、ババ」である。そんな人間の話題と言えば、病気、年金、体の具合のこと。どこかに心ときめく話はないのかね。久し振りに会った同級生、「まだ働いているん？」私の仕事は税理士です。税金の相談や借入の話、決算や経営についての話などいろんな方が来られます。こんな仕事を40年近く続けています。
私の夢は開業50周年を、毎年登っている富士山頂で祝うこと。それまで生きているのかなあ？

森 文予 昭和46年卒業（23期生）

「今は亡き友達への贈物」
私には、高校3年間ずっと一緒だった友達がいました。のんびり屋の私とは考え方も行動も真逆で、ことあるごとに助けられていました。ところが彼女は会う度に痩せはじめ、私には何も知らせることなく亡くなってしまいました。お葬式当日、大勢の友達と出あい命日に再会することを約束することで、彼女がいつまでも私達の心の中で生き続けてくれています。以来20年近くになりますが、毎年彼女の思い出話や近況を話しております。

伊藤 茂男 昭和44年卒業（21期生）

しらさぎ会 会計の拝命を受けました昭和44年卒、伊藤茂男です。昨年まで100周年記念事業は記念事業委員会、阿比野剛委員長の下で微力ですが務めさせていただき、また初めて話をした諸先輩、後輩達と楽しく仲良くして頂き誠に有難うございました。やっと終わったと思いきや三木先生から声が掛かり、しらさぎ会会計をして下さいとの事、私のような者が金庫番が務まるかな？と思いながらもハイと言ってしまいました。色々わからない事が多々有りますが皆さんの協力、ご指導で任期を務めてまいりたいと思います。宜しくお願い致します。

また、しらさぎ会ホームページ推進役も引き受けました。今、しらさぎ会館にインターネット利用の為、光ファイバー工事を学校施設課に申請し6月3日に許可が出ました。当初は4月に開通と思っていましたが南側の山裾から光ファイバーケーブルを引き込みテニスコートの夜間照明のポールを中継し会館2階へ導きます。開通しましたら情報の伝達等、色々な利用を皆さんで検討していただき、会の運営に役立つようにもっていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

阿比野 剛 昭和46年卒業（23期生）

「教育こそ国造りの礎なり」

本年は色々な面で節目の年と呼ばれている。なかでも、戦後70年を迎え、GHQによる歪められた戦後教育が、やっと正しい歴史認識や祖国に対する誇り、愛国心を取り戻そうという教育の必要性が認識されだした。

日本人は、元々世界に先駆けて、江戸時代から寺子屋による教育が普及しており、世界最高の教育水準であるといわれていた。その教育の基礎があればこそ、明治維新で短期間の近代化を推進し、列強国の仲間入りが出来たのである。当時、西欧列強が、自国の教育水準を高めたのも産業革命によってもたらされた新商品、新技術を寡占する事によって、植民地に高く売りつける目的があった訳です。そうした中、日本は西欧諸国の植民地政策、有色人種差別に対抗する為、大東亜共栄圏構想を立ち上げ、アジアの国々の植民地解放に向けて戦いました。西欧列強が植民地に対して愚民化政策を進め、植民地の財産、資源を剥奪したのに対して、日本は植民地を独立させるために、何百、何千という学校を設立し教育に力を入れ、病人を救う為、多くの病院の建設と基盤整備を行いアジアの国々に大きく貢献しました。その根拠の一つに旧帝国大学を初め、京都、東北、九州、北海道と続き、6番目に朝鮮の京城帝国大学、7番目に台湾の台北帝国大学と続き、次に大阪、名古屋と設立したわけです。

こうしてほんのわずかな近現代史を振り返ってみても、改めて教育の重要性を感じさせずにいられません。佐藤一斎先生の「少くして学べば壮にして為すあり。壮にして学べば老いて衰えず。老いて学べば死して朽ちず」という金言通り、我々も一生勉学に励みたいものです。

細野 友克 昭和47年卒業（24期生）

昭和47年、第24回卒業生の細野友克です。現在、昭和54年設立、創業36年株式会社警備ひゃくの代表取締役をしております。家族は妻と娘3人の5人家族です。また、姫路西ロータリークラブ第46代会長を今年の6月まで務めておりました。ボランティア活動の一環として今年、世界文化遺産 国宝 姫路城のグランドオープンを記念して開催された「白鷺城フェスティバル2015中播磨」の実行委員として、また花笠歌舞伎実行委員長としても小学生から大学生までの支援に携わり、着物の着付け、作法、日本舞踊を舞う、語学が堪能である、など多くの子供たちが集まり、文化交流の場で活躍しております。最近では、全日本女子バレーボールウエルカムパーティーで木村沙織キャプテンと写真を撮る機会があり単純に喜んで応援しております。

最後に創立100周年の時は募金委員会のメンバーとして母校のお役に立てればと活動させていただきましたが、おかげさまで卒業生としてたくさんの人たちとのつながりをあらためて持つことができ、大変感謝しております。

●皆様の近況をお聞かせ下さい。随時受け付けておりますので、お便りお待ちしております。
しらさぎ会／FAX.079-292-4980 E-mail:kotogaokasirasagikai@gmail.com

鎌谷 正弘 昭和47年卒業（24期生）

最近 は姫路経営者協会主催の勉強会で「十八史略」を学んでいます。この勉強会は経営者協会だけではなく、今は亡きグローリー の松下相談役が主催され、安岡正篤先生の教える人物学を中国古典を通して学ぶ「水厚会」の方々と一緒になってやっております。しかも、今は安岡先生から直に教えを受けられた田中昭夫先生から指導を頂いています。
この会で一緒に学んでいる中に、昭和28年卒三木英一先輩や46年卒阿比野剛先輩もおられ、価値ある有意義な時間を楽しみながら親交を深めています。

菅原 栄作 昭和54年卒業（31期生）

いつの間にか実行委員会に入り何も分からないまま記念式祝宴委員会の副委員長を任命され、バタバタとしながら創立100周年記念事業も盛況に終わりホッとしている今日この頃です。
生徒の頃先生方にご迷惑ばかりお掛けした私の様なものが、この表舞台でお仕事させていただいてよかったのかまた、今後のしらさぎ会の事務局を任されてよかったのか今も悩んでおりますが、これも恩返しと思ひ微力ながらも同窓生の皆様のお力になればと考えておりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。
さて、私たち昭和54年卒業生の同窓会は4年に一度オリンピックが開かれる年に開催しております。2020年にちょうど還暦を迎える私たちの同窓会では東京オリンピックで日本中が盛り上がっていることだと思います。できればその東京で熱い競技を見ながら仲間たちとお祝いしたいと願っております。同級生のみんなそれまで元気でいようね。

平野 勝也 昭和57年卒業（34期生）

昭和57年卒業の平野でございます。一昨年 の11月3日に100周年記念式典を挙行してから、早1年半が経ちました。100周年記念事業が成功裏に終えられたのは、八木会長はじめ、幹部の方々の並々ならぬご努力の賜物と、あらためて敬意を表します。私も側面からお手伝いさせていただき、琴丘のOBとして充実した時間を過ごさせていただきました。
さて、今年度より、三木新会長のもと、100周年を機に、より、しらさぎ会を発展させ、琴丘の輪を現役の学生、先生、OB共々広げて行こうということで、今年の1月20日に第1回理事会が開かれ、私も参加させていただきました。私自身もたくさんの先輩、後輩の方々と知り合えて、琴丘高校を卒業して、ほんとに良かったなと実感いたしております。
今後とも三木会長を中心に、しらさぎ会を盛り上げて行きたいと思しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

佐々木 賢司 平成元年卒業（41期生）

梅雨も明け、母校の並木道の緑も生き生きと輝く季節となりました。同窓諸兄の皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。
さて、昨今「人間力」という事が問われていますが、現役生の皆さんには、生きていくのに役に立つ「実学」を我らが学び舎でしっかり得て、更には最大の財産となる友をも得るためトコトンやりぬく大切さを学び、更なる活躍を期待してやみません。
また、同窓生の皆様には今後とも総会や会報を通じて交流を深められ母校への思いを結集されますことを祈念しつつ、大変微力ながら理事として出来ることに取り組ませていただく所存です。若輩者ですが、今後共ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

福岡 和也 昭和52年卒業（29期生）

卒業後、男の夢を追いかけて夢につまづくこともそんな時、ビールの泡と共に飲みほした日々もあり随分走って来たようなあの頃よりは歳もとりましたでも、まだ人生を語らずForever Youngと思う今日このごろです。

三浦 一章 昭和61年卒業（38期生）

今年48回目の誕生日は、長女の留学先ニューヨークで過ごしました。3人娘も長女が大学4回生、次女が大学3回生、三女が高校3年生となり、子育ても一段落、家内との海外旅行を楽しんでおります。昨年はボルドー・ワイン祭り、今年はメキシコ・ビーチリゾート『カンクン』を初体験しました。
また、テニス部の同級生達とは、年に数回の飲み会、ゴルフを楽しんだり、仲間の赴任先であるフィリピンへ4年前、ベトナムへ2年前に激励に行って参りました。これからも、昔の仲間と一緒に成長出来たらと思っております。

渡部 美智余 平成2年卒業（42期生）

朝日さわやかクッキング・教室を運営しております。薬膳料理を通じて「食と健康」の問題をテーマに、各種団体や学校、企業などから依頼を頂戴し、近隣のみならず滋賀や岡山など他府県にも出向き料理教室や食育に関する講演活動等も行っております。
2012年3月11日に発生した東日本大震災では、被災地である宮城県石巻市に手縫いぞうきん届ける活動を呼びかけ、5月、集めたぞうきんを私自身も含め知人の手もお借りして約2000枚を送り届けました。また、6月には同市の2カ所の避難所で薬膳メニューによる炊き出しも実施しました。震災とは今後も関わりを持ちたいと思い、来年3月に再度現地を訪れようと考えております。被災地支援にご協力いただける方がございましたら是非お声をおかけ下さい。

三原 隼人 平成7年卒業（47期生）

今春、6年間勤めた県立大学（書写）から龍野県税事務所へ転勤になりました。環境が変わってあたふたの毎日ですが、ポチポチ頑張っております。播磨高岡駅からの通勤で、毎朝・夕、琴丘の生徒を目にし、生徒達は様々な表情で通学しています。充実した3年間を送り、「I" こっとな" はよかった」と将来誇りをもってもらえることを切に願っています。
私も100周年では記念誌委員を務めさせて頂き、改めてそう思います。あっ、そうそう、卒業生の皆さま、自動車税は、納めていただけましたか？

福永 直史 平成22年卒業（62期生）

高校を卒業してもう6年が過ぎ、24歳の年となりました。私は現在社会人2年目です。仕事にも少しずつ慣れてきたところで、社会の波に揉まれながら頑張っています。休日には趣味のサイクリングをし、運動不足の解消に励んでいます。また、姫路域もリニューアルされ、早朝の人があまりいない時間にお城の周りを走るのが最近の日課です。今後も姫路市立琴丘高等学校のますますのご発展をお祈りし、結びの言葉とさせていただきます。